

第 29 回高専・技科大建設系教員研究交流集会 第二部:シンポジウム 議事録	
日時	2017/08/19(土)9:00~14:40
場所	豊橋技術科学大学・附属図書館 1F オープンスペース

プログラム・討議内容

8:30 受付開始

9:00 オープニングセッション

[司会: 宮田 譲]



- ・ 開会挨拶

大西 隆 (豊橋技術科学大学 学長)



9:15 セッション1: 高専・技科大における建築・土木分野の存在価値と役割

(発表 20 分+質疑 10 分)

[司会: 斉藤 大樹]



① 高専・技科大における建築・土木分野の存在価値と役割

中出 文平 (長岡技術科学大学 副学長)



質疑 1 : SDGs における経済面の課題との連携はどうされるのか?

→経済面は企業の在り方に関する提言等が多い。大学としての研究課題は、やはり環境面の課題との関連性が強い。

② 豊橋技科大建築・都市システム学系の現状と展望 —組織的研究推進に向けて—

大貝 彰 (豊橋技術科学大学 副学長)



質疑 1 : スマートキャンパス構想について、これまでは行われてこなかったのか?

→種々の発想はあったが具体的な取り組みは乏しく、画一的な対応にとどまっていた。

10:15 休 憩

10:30 セッション 2 : 技科大・高専の取り組み (発表時間 15 分程度+質疑)

① 釧路高専における防災に関する教育と地域貢献・研究活動

草刈 敏夫 (釧路工業高等専門学校)



時間の都合上、質疑なし

② 他分野との連携研究が開く、新たな土木環境系研究事例

松本 嘉孝 (豊田工業高等専門学校)



質疑1：技科大での高専からの編入生に対する対応について、具体的な要望等は？

→大学のスケジュール等に関して画一的な対応に終始するのではなく、研究を頑張っている学生には、活動状況に応じた柔軟な対応をお願いしたい。

③ 民間企業サイドからの見方と期待

池田 隆明（長岡技術科学大学）



質疑1：語学力に対する企業の考え方はどうか？

→高専卒の学生と、4年生大学卒の学生では、進学状況において英語に対する取り組み方が異なる。特に、英語を必要とする機会が高専卒の学生の方が少ないように思われる。建設業における海外の重要性は20年前から説かれているが、現在までの状況はあまり変化していない。しかし、今後はそれでは済まないと考えている。

質疑2：高専生は専門知識が高い反面、教養科目がやや弱いように思われる。この点は、民間企業としてどう捉えているか？

→教養科目の問題は、企業としても認識している。しかし、これは高専・技科大に限ったことではないように思われる。

④ 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系研究力強化の方針に基づいて

渋澤 博幸（豊橋技術科学大学）



質疑1：建築・都市システム学系として、基礎研究と実践的研究あるいは社会実装のどちらに軸足を置くのか？

→双方バランスを取ってやっていく他ない。その点はグループディスカッションで議論する。

12:10 グループディスカッション

13:20 グループ発表 (15分×5名:質疑含む)

① 環境 A

陸 旻皎 (長岡技術科学大学)



② 環境 B

渡利 高大 (長岡技術科学大学)



③ 計画 A

中出 文平 (長岡技術科学大学)



④ 計画 B

鳩山 紀一郎 (長岡技術科学大学)



⑤ 構造

中出 文平 (長岡技術科学大学)



意見1：学生の研究発表を英語でさせる場合、研究の中身が充実していないものになる傾向が見られ、注意が必要である。

意見2：高専や技科大の卒業生が海外に出る際、その専門知識をどのように現地で認めてもらえるか、教育側で考える必要がある。

意見3：英語力に関しては特別な教育プログラムを組むのではなく、研究発表等の機会に英語によるプレゼンテーションなどを学生に課すことが効果的ではないか。

意見4：英語力はコミュニケーションに関するツールであり、授業等で教えるのではなく学生自身がその必要性に気付き、自ら学習する姿勢を促すことが重要。大学としての取り組みは、留学生比率の拡大等により、日本人学生が英語を必要とせざる負えない環境を整備するなどが考えられる。

意見5：高専生は大学入試を受けないため、4年制大学の学生に比べて英語力は低くなりがちである。そのため、英語を用いたコミュニケーションを行えるレベルに達するまでの追加勉強時間がより必要な現状にある。

意見6：英語力だけでなく、日本語の作文能力も最近では低くなってきている。主語と述語が不明確な文章を書く学生が多く、その対策が必要である。

意見7：高専の授業を英語で実施すると、学生の評価が著しく悪くなる。私立高専では、最近では英語授業が減少傾向にあり、興味のある学生に重点的に支援する体制に移行している。

意見8：高専生の国語の点数が悪くなってきている。日本語の基礎ができていない段階で、英語の講義を受けても効果が上がりにくい。

意見9：高専5年生で卒論をまとめた学生が、技科大3年に編入した際、どのように研究に対するモチベーションを維持させるかが課題。

14:30 クロージングセッション

・閉会挨拶

大貝 彰(豊橋技科大 理事・副学長)



参加者リスト

氏名	御所属	分野
大塚 悟	長岡技術科学大学	計画・環境
中出 文平	長岡技術科学大学	環境社会
陸 旻皎	長岡技術科学大学	環境情報
池田 隆明	長岡技術科学大学	計画・環境
鳩山 紀一郎	長岡技術科学大学	環境社会
渡利 高大	長岡技術科学大学	環境制御
内田 一平	鹿児島工業高等専門学校	計画
中平 恭之	近畿大学工業高等専門学校	計画
草苺 敏夫	釧路工業高等専門学校	計画
神田 佑亮	呉工業高等専門学校	計画
木村 竜士	高知工業高等専門学校	環境
松本 嘉孝	豊田工業高等専門学校	環境
馬渡 龍	八戸工業高等専門学校	計画
樋口 直也	福井工業高等専門学校	構造
金 高義	福島工業高等専門学校	環境
勝野 幸司	熊本高等専門学校	計画
天野 圭子	米子工業高等専門学校	計画
大貝 彰	豊橋技術科学大学	計画
宮田 譲	豊橋技術科学大学	計画
斉藤 大樹	豊橋技術科学大学	構造
都築 和代	豊橋技術科学大学	環境
中澤 祥二	豊橋技術科学大学	構造
三浦 均也	豊橋技術科学大学	構造
渋澤 博幸	豊橋技術科学大学	計画
杉木 直	豊橋技術科学大学	計画
松井 智哉	豊橋技術科学大学	構造
松本 幸大	豊橋技術科学大学	構造
横田 久里子	豊橋技術科学大学	環境
松田 達也	豊橋技術科学大学	構造
水谷 晃啓	豊橋技術科学大学	計画
岡辺 拓巳	豊橋技術科学大学	環境
鍋島 佑基	豊橋技術科学大学	環境
林 和宏	豊橋技術科学大学	構造
松尾 幸二郎	豊橋技術科学大学	計画
嵯峨 慎	豊橋技術科学大学	環境
中村 亮太	豊橋技術科学大学	環境